

立教セカンドステージ大学 (RSSC)に通って



2011年11月6日
立教セカンドステージ大学
専攻科 神山 利



2

設立の趣旨

- 「学び直し」「再チャレンジ」のサポート
- セカンドステージの生き方を自らデザイン
- 人と人とのネットワークを形成し、仕事や多様な社会参加の担い手に



2011年度 受講生の概要



本科生

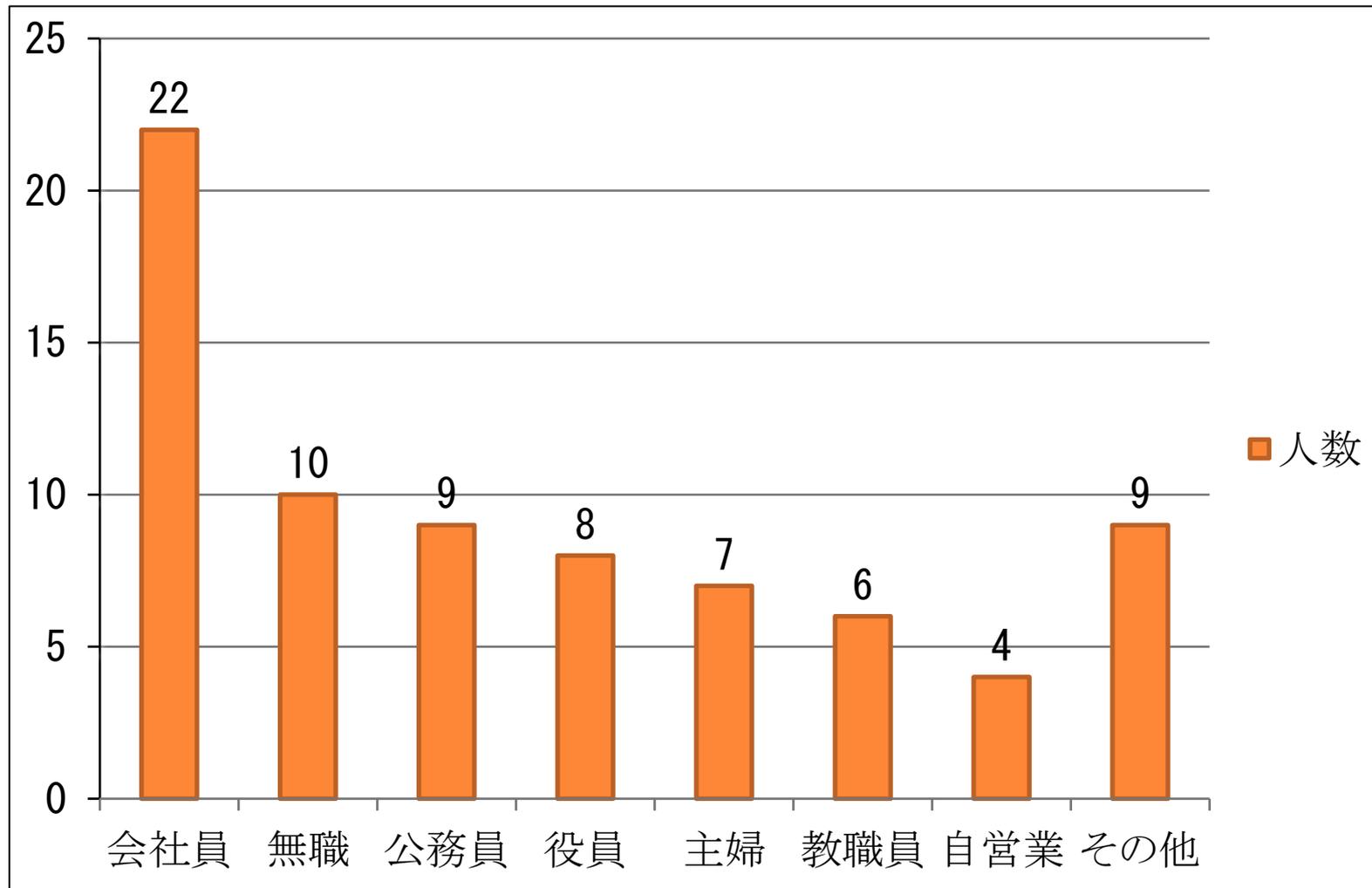
○入学者数 : 79名 (男34名、女45名)
○平均年齢 : 61.3歳 (男61.2歳、女61.4歳)
○最高齢 : 男69歳、女76歳
○最年少 : 男51歳、女52歳
○立教卒業生 : 5名 (男3名、女2名)

専攻科生(本科修了生が対象)

○入学者数 : 54名 (男26名、女28名)
○平均年齢 : 63.8歳
○最高齢 : 男 74歳、女 74歳
○最年少 : 男 56歳、女 53歳
○立教卒業生 : 5名 (男2名、女3名)

2011年度

受講生の元の職業等(本科生)



*アンケート未記入は数値に反映していない

募集概要(2012年度)

- 出願資格

2012年4月1日現在、満50歳以上の男女

- 選考方法

書類選考(履歴書・課題エッセイ)および面接試験

- 登録料・受講料

(登録料)100,000円、(受講料)300,000円

募集定員

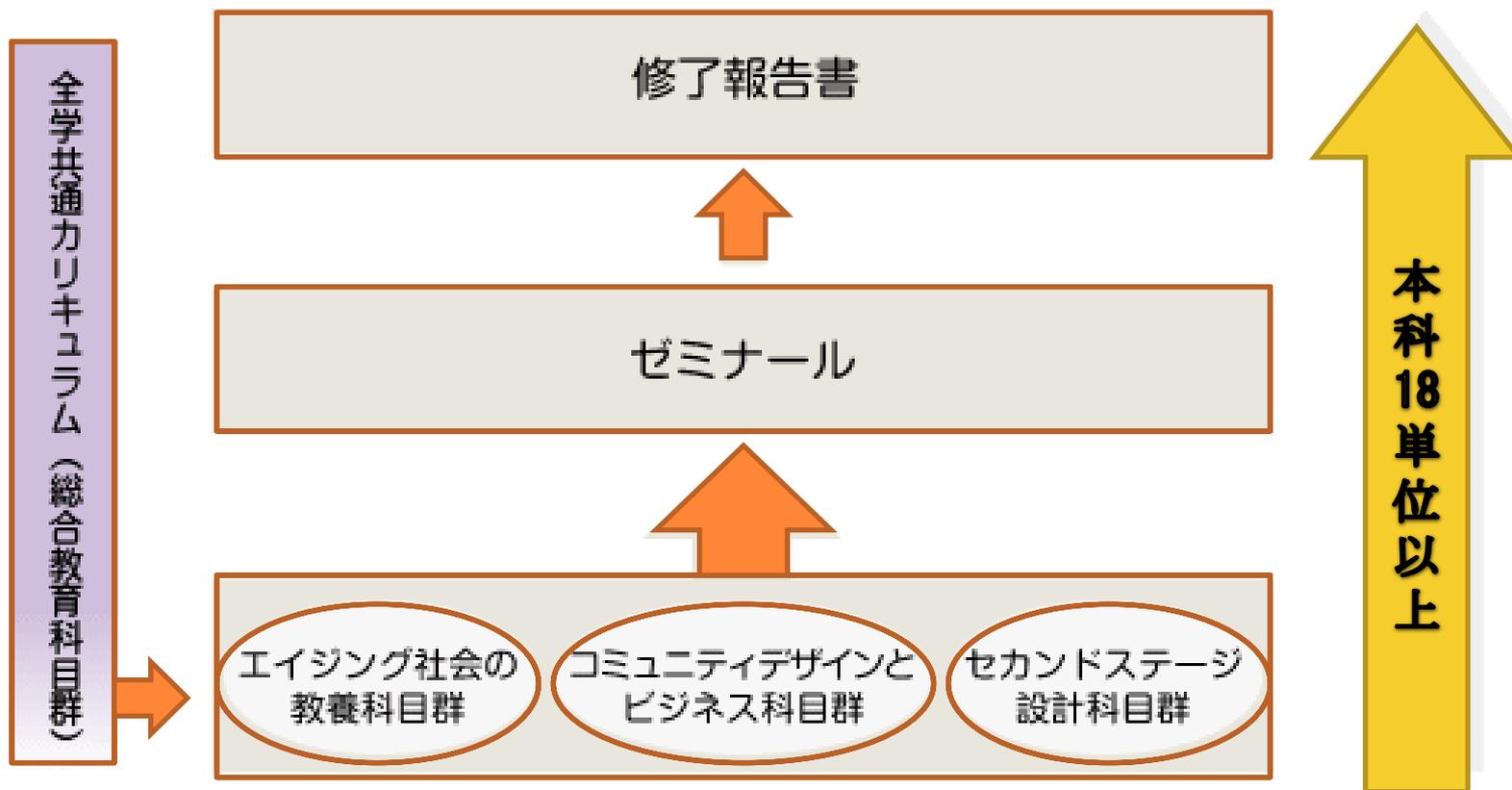
本科(1年)70名

*専攻科募集要項

・受講料のみ 300,000円 ・募集定員(1年) 30名

カリキュラム履修概念図

本科のカリキュラム履修概念図



主な教授・講師陣

- 笠原清志 [組織論] *ゼミナール担当教員
立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授、経営学部教授
- 木下康仁 [社会老年学、質的研究法] *ゼミナール担当教員
立教大学社会学部教授
- 千石英世 [文芸批評]
立教大学文学部教授
- 上田恵介 [動物生態学、環境論] *ゼミナール担当教員
立教大学理学部教授
- 渡辺信二 [アメリカ文学] *ゼミナール担当教員
立教大学文学部教授
- 庄司洋子 [家族論、ジェンダー論] *ゼミナール担当教員
立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科特任教授
- 鳥飼玖美子 [言語コミュニケーション論、通訳翻訳論]
立教大学大学院異文化コミュニケーション研究科特任教授
- 立花 隆 [ジャーナリズム論] 立教セカンドステージ大学客員教授

*総勢42名の教授・講師陣が講義を展開(2011年度)

日課表(前期) *ほかに夏季集中講義が5講座あり

*赤字(専攻科の時)・緑字(本科の時)は私の受講科目

時限					
曜日	科目名	担当者	科目名	担当者	科目名
月	日本人と英語の200年	鳥飼	通訳翻訳の社会文化史	鳥飼	
	セカンドステージとソーシャルビジネス	鈴木(政)	最後まで自分らしく	小谷	
	地域ケアと看取り	秋山			
火	現代美術に親しむ	菊池	昭和史の検証	立花	
	先端科学・技術論	立花	社会老年学入門	古谷野	
水	自分のからだと言葉を取り戻す	鈴木(理)	生命の多様性	上田	
	ボランティアとコミュニティデザイン	内海(旬)	セカンドステージと夫婦関係・親子関係	袖井	
	高齢者の生活と介護保険	橋本			
木	コミュニティ活動とネットワークデザイン	浜田	超高齢社会論(本科必修)	庄司	ゼミナール・修了報告書(本科)
	暮らしに役立つ経済と金融	坪野谷	セカンドステージ特論 I (専攻科必修)	オムニバス	ゼミナール・修了論文(専攻科)
金	セカンドステージの暮らしと社会保障	丸尾			
	戦後経済の検証と国民生活	古賀	現代史の中の自分史 心の変革	内海(靖) 横山	

日課表(後期)

*赤字(専攻科の時)・緑字(本科の時)は私の受講科目

時限								
曜日	科目名	担当者	科目名	担当者	科目名	担当者	科目名	担当者
月			多文化共生社会と通訳者の役割	鳥飼	セカンドステージと市民生活	渡辺(豊)		
			旅と文化	設楽	英語で味わう生きる喜び	渡辺(信)		
			アジア・アフリカの貧困とNGO	岩男	東洋思想からの問い	松本		
火			聖書と私	新井	歌が照らす人と社会	佐藤		
			セカンドステージと福祉社会	高橋	サステナブルな社会の創り方	大和田		
水			哲学と法	小林	人類の来た道のりを測る	鈴木(正)		
			セカンドステージの医療	堀	日本のビジネスを考える	丸山		
木			コミュニケーションに使える英語を考える	鳥飼	現代社会論(本科必修)	立花	ゼミナール・修了報告書(本科)	
			メディアとジャーナリズムのあいだ	野中	セカンドステージ特論Ⅱ(専攻科必修)	オムニバス	ゼミナール・修了論文(専攻科)	
金	生涯現役という生き方	千石	地球環境の変遷と未来	佐々木	現代生活と地球上の森林問題	稲本		

特徴と魅力その1 ゼミナール

- 10名の指導教員
- 毎週のゼミでの討議
- 修了報告書(修了論文)作成

ジャンル:社会、政治・経済、社会保
障、歴史、文学、自然科学、生きが
い



ゼミ風景



特徴と魅力 その2 全学共通カリキュラム

- 学部学生対象に開講されている約130コマもの共通授業(全学共通カリキュラムの総合科目A)から選択
(2012年度は、約300コマに拡大予定)
- 学部学生と一緒に受講

全カリ・・・私が受講した科目

- 宇宙の科学
- 武蔵野の自然
- 歴史と現代(琉球・沖縄の視点から考える歴史と現代)
- 海洋環境保全の情報技術
- 歴史と現代(グローバル史の可能性)

特徴と魅力 その3 課外活動1

- ゼミの一環として清里でのゼミ合同合宿
講演会・自然観察・キャンプファイアー等



課外活動2 授業のフィールドワーク

- 授業・ゼミや夏休み課外活動として開催
東京証券取引所見学、コミュニティ施設訪問、企業訪問
「CSRの研究」(夏休み)等



多彩なキャンパスライフ その1

納涼パーティ

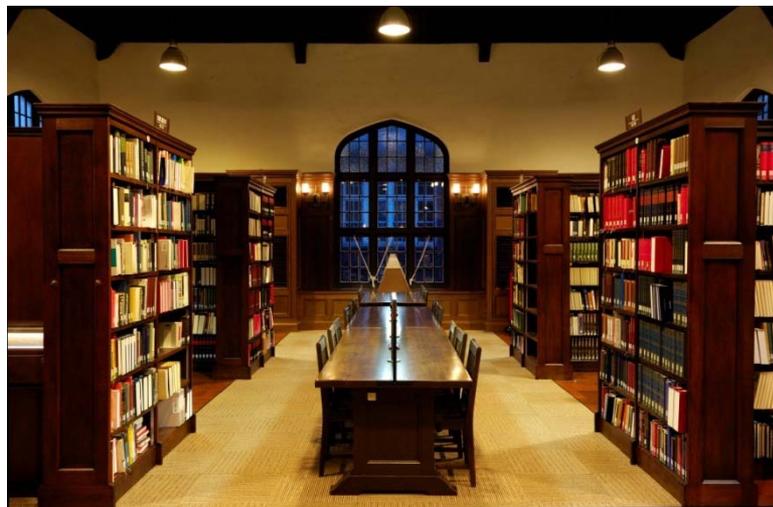


クリスマスパーティ



多彩なキャンパスライフ その2

学生食堂、チャペル、図書館、メディアライブラリー等の利用



サポートセンター活動

RSSCの組織としての在学～修了後の社会とのかかわり・社会貢献活動を支援

○ サポートセンター活動事例 その1

「都会・癒し・自然交流研究会」

都会生活の自然と共生と癒しを目的に豊島区の緑化運動に参加



○ サポートセンター活動事例 その2

「かがやきライフ研究会」

自らの生き方をデザインするエッセー集の発行
(年間1回 300冊)



○ サポートセンターの活動事例 その3

「ウィメンズクラブ」

「アジアの貧困とNPO/NGO支援研究会」

女性・子供の社会問題の研究と講演会・バザー等の開催



その他 修了後の地域での活動事例

- 中野区における**NPO**のコンサルティング活動
- 「外国人の日本語教室」活動支援
- 町おこし支援

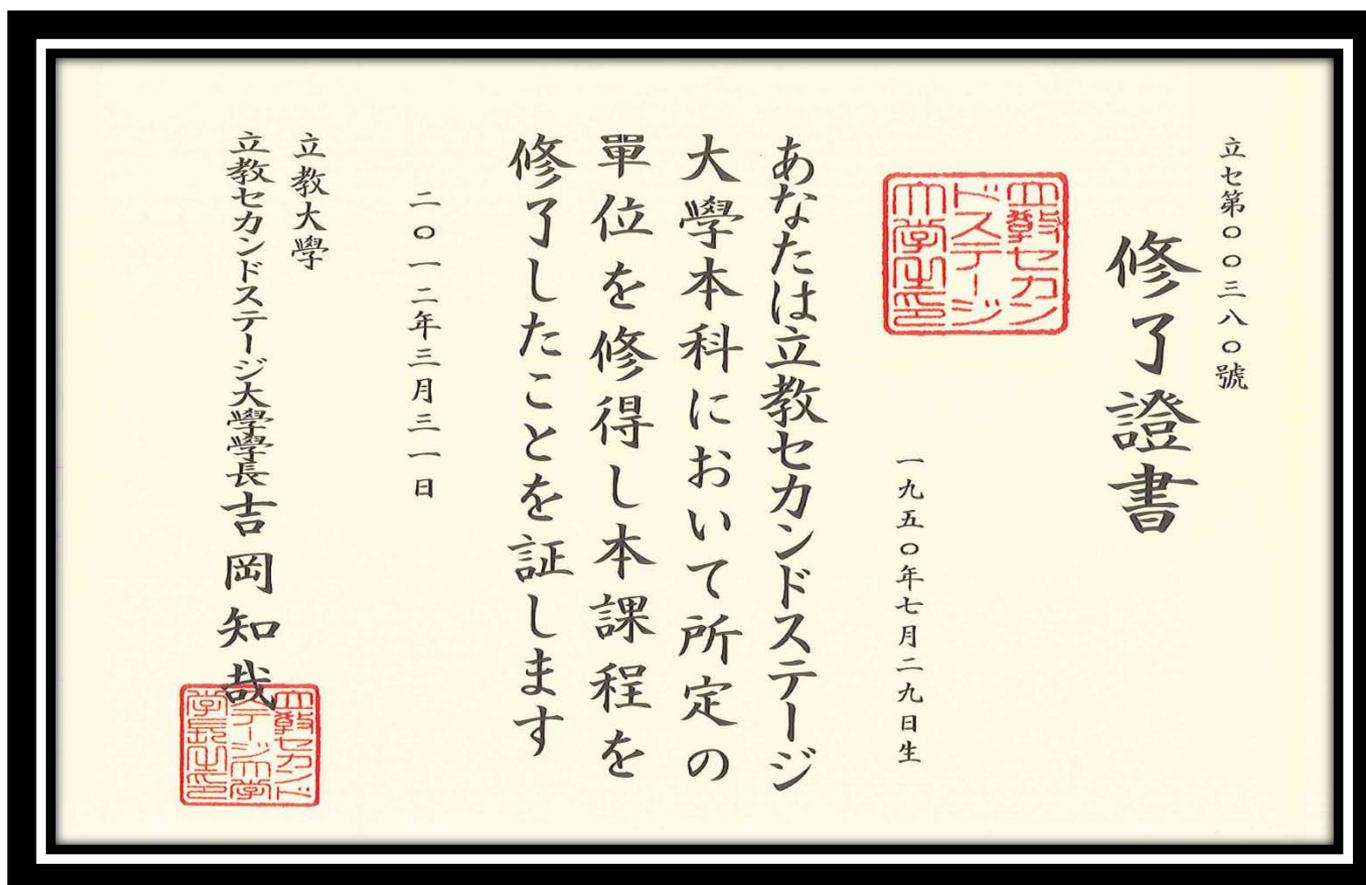
社会人大大学院(立教大学大学院)への進学

- 学際的な新しい分野を開拓する社会人大大学院として、ビジネスデザイン研究科、21世紀社会デザイン研究科、異文化コミュニケーション研究科の3つの独立研究科を擁している。
- それらの独立研究科にも毎年、3～4名の修了生が進学。



「修了証書」・「履修証明書」

- 本科生は履修18単位以上で修了し「修了証書」が授与
- 修了者は学校教育法105条の「履修証明書」が交付



終わりに

- 学ぶことの悦び
- 多彩で情熱あふれる教授陣
- 若い学生との交流
- 志を同じくする仲間との
ネットワーク

